

さくらの学舎

～学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい～

発行日：令和7年12月23日（火）

発行者：校長



☆美九里西小学校ホームページ「学校日記」では、子供たちの頑張る姿を紹介していますので、ぜひご覧ください。美九里西小ホームページ QRコード→

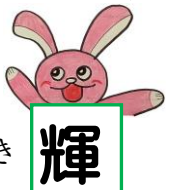


2学期終業式に・・・よい締めくくりを、新しい年の力に！

本日で2学期が終了です。この2学期は、運動会や修学旅行等の大きな学校・学年行事があり、日々の教育活動を通して、子供たちは大きく、たくましく、そして優しく成長し、一人一人が輝いていました。したがって、校長の私にとって、今年の漢字は「輝」です。

今日の終業式では、そんな子供たちの輝く姿あふれる成長について振り返り、たくさんほめました。各担任がお子さんに手渡した通知表には、一人一人のできるようになったこと、成長したこと等が書かれています。どうぞ、ご家庭でもお子さんと一緒にこの2学期の輝く成長を振り返ってたくさんほめていただき、3学期、そして令和8年への「心のスイッチ」を一緒に入れてあげてください。

あらためまして、保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より、様々な面で、ご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。3学期も引き続きよろしくお願いいたします。どうぞ皆様 よいお年をお迎えください。



ありがとう から やさしさを ひろげよう 【第2期人権集中学習 11/19～12/12】 「おもいやり みんなでもとう やさしいきもち」



↑「ありがとうの花」がたくさん咲きました。
誰かを笑顔にする行動がとれる人は、素敵です。
でも、それに「ありがとう！」と感謝の気持ちをもって伝えられる人も、かなり素敵です！！



↑この期間中は、児童会本部発信の活動はもちろんですが、6年生が（国語の学習とつなげて）企画、実行したレクもありました。今回の機会だけでなく、日頃から学年の枠を超えてみんなが仲良しです。

他に、人権教室（講師は人権擁護委員さん）、各学級での「思いやり宣言」、道徳や学活、各専門委員会の活動等を充実させることができました。

「人権」とは、「すべての人が、生まれながらにして持っている幸せに生きる権利」つまり、「みんなが 幸せに生きるための大切な約束」と、あらためて確認しました。そして、目には見えない「人権」「思いやり」「やさしいきもち」を行動で表すことの大切さを考えました。

特に、言葉遣い。ゲーム、SNS、テレビなど、子供たちの目に入ったり、耳に入ったりする言葉の中には、胸が痛くなるようなものがあります。人権を否定する言葉もあります。具体的にそういった言葉を挙げて一緒に考えました。「人を笑顔にする言葉、人を幸せにする言葉を使おうね！」と約束しました。

ひとつのことば 北原白秋

ひとつのことばで けんかして	ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭が下がり	ひとつのことばで 心がいたむ
ひとつのことばで 楽しくわらい	ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに	ひとつの心を もっている
きれいなことばは きれいな心	やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に	ひとつのことばを美しく



「思いやり みんなでもとう やさしい きもち」(美九里西小の人権学習スローガン)。
「人権(じれけん)」は「みんなが しあわせに いきるための たしきつな やくそく」だよ。
人をきずつける ことば は、ぜったいにつかわない！人権(じれけん)を むし します。
人をたしきつにして、やさしい ことば をつかって、みんないっしょに しあわせになろうね！

職員より・・・2学期に見られた児童の成長

たくさんの成長が見られ、職員一同、嬉しく思っています。ほんの一部ですが、紹介いたします。

あすなろ学級

〔1年生〕

- 学級・学校の雰囲気に慣れ、友達との関わりが増えたこと。自分の考えていることや気持ちを言葉にすることが増えたこと。

〔6年生〕

- 自分の考えをもち、発言が多くなったこと。運動会での指揮、体育のティーボールで自主練習をする等して頑張ったように、向上心をもって努力することが増えたこと。



1年生

- ひらがなを読む→かたかな・漢字を書く→長い文章を書く・読むことができるようになったこと。
- くり上がり、くり下がり、の計算ができるようになったこと。（宿題やプリント等もどんどんできる）
- 体力がつき、長い距離を走るなど、運動が続けてできるようになったこと。
- 自分のことを自分で準備、片付けできる。他の人や全体のことを見られる人が増えたこと。



2年生・3年生

- よいこともそうでないことも、自分たちで話し合い、解決に向けて行動できるようになったこと。
- やりたくないと思うことも我慢できるようになったこと。
- 友達同士で励まし合い、学習に向かえるようになったこと。



3年生

- どんなときも「学習を頑張るぞ」という気持ちがよくなったこと。特に、苦手なことにもあきらめず、粘り強く取り組めるようになったこと。また、板書を写したり、自分の考えをまとめたりするのが速くなったこと。
- 自分のことだけではなく、友達の頑張っていることを冷静によく見ることができるようになっていること。



4年生

- 自分たちで考えて行動できること。
- 友達を励ましたり応援したりする一人一人の優しさ、思いやり。
- 友達のよいところを見付け、素直に「すごいね!」と言えること。
- 授業の取組が一生懸命、あきらめない。
- よりよいクラスのために係の仕事を工夫すること。



5年生

- 難しい算数の学習でも、あきらめず自分の力で考えようと努力したこと。（復習も頑張った）
- 給食を時間内にあまり残さず食べることができるようになったこと。
- 下級生の面倒を見られるようになったこと。
- 挨拶を元気にできること。
- 挑戦しようという気持ちが見られたこと。



6年生

- 何事にも一生懸命で、自分たちで何するべきか考えて行動できるようになってきたこと。
- 毎日の学習では「Hop Step Jump」自分で考え、友達との交流から自分の考えを深めることができたこと。
- 美九里西小のリーダーとして頼もしくなってきたこと。（全校を引っ張る姿、下級生に優しく教える姿など）



支援員

- どの学級も、自習等で担任の先生がいなくても、しっかり課題に取り組んでいること。特に、4年生は、協力的で、お互いのことを考えた距離感がよく保たれていることを感じました。



養護教諭

- 学校のため、団のため、年下の学年のため、友達のために考えて、色々な行事や授業に取り組んでいて、いつも「人のため」を思って行動する姿がたくさん見られたこと



兼務教員

（4～6年の理科）

- 自分の力で考えたり、まとめたり、自分の言葉で説明したりすることができるようになったこと。
- 友達の意見をよく聞き、どの考え方なのか分類したりまとめたりできるようになったこと



事務主事

- 挨拶の定着 廊下で、来客にも大きな声で
- 主体性 高学年（特に5年生）が低学年を優しく導く姿
- 自己主張力 職員室入室時の用件等をきちんと言う姿（特に低学年）



教務主任

- 運動会、修学旅行、バス旅行など大きな行事をのりこえて、高学年は自信をもって色々なことに取り組む様子が見られました。低学年は自分だけでなく友達のことを考えて行動する姿が見られました。挨拶や掃除、靴揃え等、お互いに声をかけ合い高め合う姿も多く見られました。



業務員

- 各学級のゴミ集めに行くと、必ず、誰かがゴミ箱を出しておいてくれることが多く、本当によく気が付いてくれること。
- 挨拶がとても気持ちよく、大きな声で挨拶できるようになってきたこと。



業務員

- 心身ともに成長し、はっきりとした挨拶、運動会での正々堂々とした行動が見られたこと。
- 児童の成長は、西小のスローガンである「やる気いっぱい」と「一致団結」の表れだと思えます。



教頭

- 「自分から」あいさつをする児童がさらに増えたこと。
- 「人知れず」人のために行動する姿がよく見られたこと。（下駄箱の靴揃え、委員会活動で当番の子が休んだときに代わりにやる等）
- 全学年、1つ上の学年に身も心も近付いていると感じています。



校長

- 難しいこと、逃げ出したくなるようなことに対して、「やるぞ!」とスイッチを入れようと努めていた姿。
- 友達とともに切磋琢磨し合える集団作り。これが一人一人の優しく、たくましい成長につながりました。

